

## 横浜環状道路等の整備状況について







### 1 横浜環状道路等の整備

横浜環状道路は、横浜市の道路ネットワークの骨格を形成する自動車専用道路で、首都圏3環状道路等と一体となって、首都圏の広域的な高速道路網を形成する重要な路線です。

横浜環状道路の整備により、国際コンテナ戦略港湾である横浜港の国際競争力強化、渋滞緩和による環境負荷の低減及び災害時における緊急輸送路の確保などが期待できます。

本日は、現在事業中の北西線・北線・南線等について、整備状況をご報告します。

【参考1：首都圏の高速道路ネットワーク図】

凡 例	
	横浜環状道路(事業中)
	横浜環状道路(計画中)
	自動車専用道路
	自動車専用道路(事業中)
	自動車専用道路(計画中)
	一般国道



【参考2：横浜市内の高速道路ネットワーク図】









①橋脚工事（青葉区下谷本町）



②橋脚基礎工事（都筑区川向町）



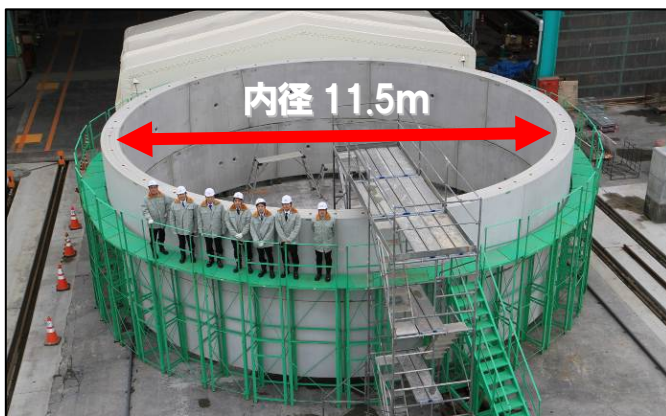
③(仮称)北八朔換気所工事（緑区北八朔町）



④(仮称)東方換気所工事（都筑区東方町）



⑤発進立坑工事、開削ソコ工事（緑区北八朔町）



⑥シールドトンネルセグメント仮組状況（工場内）

## （2） 関連街路の進捗状況及び今後の取組

- ・川向線（川向地区）では、地盤改良工事が完了し、現在は電線類の地中化工事を実施しています。

## （3） その他

＜市内企業の工事受注状況＞

- ・これまで 66 件の工事を契約し、共同企業体の構成員として参入している工事を含め、60 件を市内企業が受注しています。これにより、工事契約額の 4 割にあたる約 280 億円を市内企業が受注しています。



### 3 横浜環状北線

事業名	事業概要
横浜環状北線	<ul style="list-style-type: none"> <li>区間：都筑区川向町(第三京浜道路 横浜港北 JCT) ～ 鶴見区生麦二丁目(横浜羽田空港線 生麦 JCT)</li> <li>延長：約 8.2km</li> <li>完成予定：28年度内</li> <li>事業者：首都高速道路株</li> </ul>



#### (1) 本線の進捗状況及び今後の取組

- ・28年度内の開通に向け全線にわたり工事を実施しています。〈写真：①②③〉
- ・第三京浜道路・港北 IC では、27年11月に保土ヶ谷方面からの出口切替を、28年6月に玉川方面からの出口切替を実施しました。〈写真：④〉



①生麦 JCT 部 上部工事状況 (鶴見区生麦一丁目)



②トンネル部 設備工事状況 (神奈川区子安台二丁目)



③馬場出入口部 換気所工事状況(鶴見区馬場七丁目)



④横浜港北 JCT 部 出口切り替え状況(都筑区川向町)

## (2) 関連街路の進捗状況及び今後の取組

- ・岸谷生麦線、長島大竹線及び川向線は、北線本線と合わせて28年度内に開通するよう工事を実施しています。〈写真：⑤⑥⑦〉
- ・馬場出入口及び大田神奈川線は工事に時間を要していることから、本線開通よりも遅れる見通しです。〈写真：⑧〉。できるだけ早く開通できるよう、首都高速道路株式会社と連携しながら工事を進めていくとともに、事業費の確保に向け国に要望していきます。



⑤岸谷生麦線鉄道交差上部工事状況(鶴見区生麦一丁目)



⑥長島大竹線 街路築造工事状況(港北区新羽町)



⑦川向線 右折立体部工事状況(都筑区川向町)



⑧大田神奈川線 擁壁工事状況(鶴見区馬場七丁目)

## (3) その他

〈路線等の名称〉

- ・路線や出入口、ジャンクションの名称が決まり、開通後は次の名称で標識や地図等に案内されます。
  - 路線名：高速神奈川7号横浜北線
  - 出入口名：新横浜出入口、馬場出入口、岸谷生麦出入口
  - ジャンクション名：横浜港北ジャンクション、生麦ジャンクション



## 4 横浜環状南線・横浜湘南道路(一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道))

事業名	事業概要
横浜環状南線	<ul style="list-style-type: none"> <li>区間：金沢区釜利谷町(横浜横須賀道路 釜利谷JCT) ～ 戸塚区汲沢町(国道1号)</li> <li>延長：約8.9km(うち横浜市域約8.4km)</li> <li>完成予定：32年度*</li> <li>事業者：国土交通省、東日本高速道路株</li> </ul>
横浜湘南道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>区間：栄区田谷町(横浜環状南線 栄IC・JCT) ～ 藤沢市城南一丁目(新湘南バイパス)</li> <li>延長：約7.5km(うち横浜市域約1.9km)</li> <li>完成予定：32年度*</li> <li>事業者：国土交通省、東日本高速道路株</li> </ul>

※ 土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合



※ 横浜環状南線及び横浜湘南道路のインターチェンジ、ジャンクション及び換気所の名称は、釜利谷ジャンクションと藤沢インターチェンジ以外、全て仮称です。

### (1) 本線の進捗状況及び今後の取組

- ・用地取得率は、横浜環状南線では約96%\* (28年6月末時点)、横浜湘南道路では約95%\* (28年3月末時点) です。(※ 事業認定申請における事業地(起業地)を基にした面積ベースの取得率)
- ・両路線ともに、全線にわたり工事が進められ、27年度から南線の本線トンネル工事に着手しています。<写真：①②③>
- ・28年度は、残る用地の取得を行うとともに、説明会などで住民の皆様にご理解をいただきながら、工程のポイントとなるすべてのトンネル区間で工事に着手する予定です。<写真：④>
- ・今後も事業者である国や東日本高速道路株式会社と連携し、32年度の開通に向けて事業を推進していきます。



①桂台トンネル回転立坑構築のための切土工事  
(栄区桂台西二丁目付近)



②公田地区掘削試験工事 (栄区公田町)



③栄 IC・JCT 下部工事 (栄区田谷町)



④庄戸地区のトンネル工事着手に向けた地下水位観測孔の増設(ボーリング)作業実施(栄区庄戸五丁目)

## (2) 関連街路の進捗状況及び今後の取組

- ・横浜環状南線の整備に併せて、本市事業として、上郷公田線、田谷線及び横浜藤沢線の整備を進めています。
- ・28年度は、用地取得等を進めるとともに、各路線で工事着手に向けて説明会を開催し、住民の皆様にご丁寧にご説明してまいります。<写真：⑤⑥>
- ・また、関連街路の事業費の確保に向けて、引き続き国に要望してまいります。



⑤横浜藤沢線・田谷線等整備計画説明会[5月開催]



⑥上郷公田線(上郷・桂台地区)整備計画説明会  
[6月開催]